



え とう たつ や
衛 藤 竜 哉

農林業振興公社の組織運営は大丈夫か

「経営基盤がしっかりした
組織体制を構築していきます」

質

本市の農業施策で重要な役割を担う農林業振興公社で、多くの職員の離職があった。

大切な組織であり、市はこれまでの経緯と改善をどのようにしたのか伺う。

答 市長

申請農家とのトラブルも多く、現場での対応に苦慮することもありました。

現公社は、3つの組織を統合しましたが、それぞれの事務の進め方や作業対応の仕方が統一されていなかった部分もあり、公社組織

に不満があったようです。

職員全体で徹底した話し合いを行い、明るい職場作りに向けて、朝礼やミーティングを密に行い、職員間の連携を図っています。

本市の基幹産業である農業の最大の課題は、後継者不足と耕作放棄地対策です。

第2次豊後大野市農業振興計画でも1番目に人づくりを掲げており、機械・人員の効率的な配置など農家の要望に迅速に対応できる体制を整え、効率的な作業や事業を推進しなければならぬと考えます。

市民に的確な情報をどのように発信するのか

～ 消防車両による巡回広報や
ケーブルテレビなどで情報発信を強化 ～

質

7月の豪雨災害では市民の方から、行政無線を含む緊急告知放送などからの情報が少なかった、聞けなかったなど、不備を感じたと聞く。

これから、いつ起こるかわからない大災害、全市民にいろんな情報をどのように発信するのか伺う。

答 総務課長

住民の方へ迅速かつ的確な情報を発信することが、行政の責任と考えています。

防災気象情報、または被害状況の早期把握に努め、警報発令時、または台風接近時などに注意喚起を促す放送や避難を促す放送、道路情報や交通機関の運休状況、ライフラインなどに関する放送などを、災害から市民の皆さまを守る情報提供に努めてまいります。



向野橋 (三重町)

農産物の産地化を

～ 取り組みを進めています ～



みや なり あき よし
宮 成 昭 義

質

重点品目や戦略品目が指定されている中、特に戦略品目については産地化とブランド化の確立を目指すとなっているが、その取り組みの現状は。

答 市長

戦略品目の「夏秋ピーマン、白ネギ、かんしょ、さといも」については産地化に向け、市、農協、県豊肥振興局、そして生産者の代表として営農普及協力員がプロジェクトチームを結成し、事業の推進に努めています。



さといも



白ネギ

また、ブランド化への取り組みについては、品質の向上や市場開拓、販売戦略などを踏まえ、ブランド化戦略の取り組みを強化していきたいと考えています。

いじめなどにおける実態とその把握は

～ 実態報告を求めています ～

質

大津市のいじめ問題で学校と教育委員会の対応の在り方が表面化し、問題となっている。

市内小・中学校での実態把握と対処、対応のありようは、どのような状況にあるのか。

答 教育長

学期ごとに実態把握を行うようにし、具体的には、無記名アンケートや子ども一人一人への聞き取りですが、「起こった場所は学校の内外を問わない」、「いじめられた児童生徒の立場に立つて行うもの」とする文部科学省の「いじめ」定義を基本に調査を行い、解決に向けた早期対応を全教職員で行っています。

質

大津市の自殺事件を痛ましいだけで終わらせることなく、学校現場を指導監督する教育委員会の役割をより明確にします。

答弁の教育委員会の役割をより明確にするとは。

答 学校教育課長

教育委員会が責任も含め、各学校を支える立場であるべきだと思っております。それぞれのパターンに合わせて、進め方を提示していき、指導の方向や対応の方針を明確に打ち出していきたいと考えています。